

年組名前

「やさしい日本語」には「ハサミの法則」があると記事に書かれています。また、ゆっくり話したりジェスチャーをつけたりすることも考えられます。日本語に不慣れな外国人と話すときに、あなたが意識したいことを下の条件に合わせて書きましょう。

「避難所」
↓
「みんなが逃げる場所」

「やさしい日本語」使おう

言葉の通じない土地でもし災害に遭^あったら、病気になったら――。1995年に発生した阪神大震災^{はんしんだいしんさい}を機^きに、日本語に不慣^ふれな外国人のためにつくられたのが「やさしい日本語」だ。県内でも外国人材が増える中、県と県国際交流協会は本年度からやさしい日本語を学ぶ講座^{うけ}をスタートさせ、周知^{しゅうち}に努めている。

本語を学ぶ講座が始まった。1回目
目の講座には、「やさしい日本語
普及連絡会」（横浜市）代表理事
の吉開章さん（58）が講師として登壇。
やさしい日本語を使う意義や
作文のこつなどを解説し、市町村
や県内企業から約60人が参加し耳
を傾けた。

作文のこつとして▽はつきり言
う▽最後まで言う▽短く言う―の
「ハサミの法則」を紹介。さらに
敬語や擬音語、擬態語を使うこと
は避け、漢字の言葉よりも簡単な
和語を使うことも助言した。

やさしい日本語は、例えば「避難所」を「みんなが逃げる場所」と言い換えるなどして簡単にしたもの。多くの外国出身者に必要ない情報を伝えるための手段として活用されている。また、高齢者や障害のある人とのコミュニケーションにも役立つとされている。

本県では、6月からやさしい日

※ 【周知】 しゅうち
知れ渡るわたこと。
※ 【意義】
価値かち、重要さ。

※
【意義】
価値、重要さ。

△秋田魁新報2025年8月27日付より。記事は手直ししています▽

条件

- 日本語に不慣れな外国人と話すときに、意識したいことを具体的に書くこと。
- 百字以上、百二十字以内にまとめて書くこと。
- ◆ の印から書き始め、改行をしないで続けて書くこと。

[illegible]